

リスクアセスメントで進める 職場の熱中症対策



職場の予防対策を
一歩進めましょう!



監修

独立行政法人 労働安全衛生総合研究所 特任研究員
元中央労働災害防止協会 熱中症予防対策のための
リスクアセスメントマニュアル作成委員会委員長
医学博士 澤田 晋一



ナビゲーター

気象予報士
健康気象アドバイザー
國本 未華

上映時間 15 分 / DVD

企画・製作・発売元 株式会社 教配



株式会社 教配
URL: <https://www.kyohai.co.jp>

〒190-0012

東京都立川市曙町2-36-2 ファーレ立川センタースクエア
TEL 042-518-9774 (代) FAX 042-518-9785

リスクアセスメントで進める 職場の熱中症対策

今、職場でのリスクアセスメントが注目されています。

これまでは安全分野を中心に整備されてきていますが、今後は衛生分野においてもその実施が求められています。

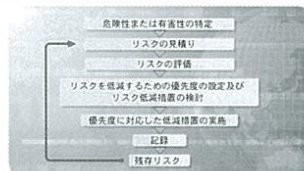
この作品ではリスクアセスメントを用いた職場の熱中症対策について説明していきます。

リスクアセスメントとは

リスクアセスメントの目的は全員で参加することで、職場の危険の芽と対策の実情を知り、災害のリスクを事前にできるだけ取り除くことです。

「安全の先取り」と称され、労働災害の少ない職場環境作りに活かされています。

その手順を説明していきます。



熱中症の種類・症状

熱中症とは高温多湿な作業場所で、体液のバランスが崩れ水分や塩分が喪失したり、循環調節や体温調節などの体内の調整機能がうまくいかなくなったりして発症する障害です。

熱中症の4つの病態と症状を確認していきます。



リスクアセスメントを用いた熱中症対策

ポイント1 リスクの見える化

熱中症の起こりやすい作業や環境を会議などで洗い出し、リスクを客観視するようにします。これを「リスクの見積り」と言います。

各リスクを数値化してレベル分けし、組み合わせて総合的にリスクを評価します。

WBGT値による暑熱環境のレベル分け

暑熱環境レベル (EL)	WBGT値
低	EL1 25℃未満
	EL2 25℃以上 28℃未満
	EL3 28℃以上 31℃未満
高	EL4 31℃以上

①暑熱環境

ポイント2 リスクを具体的に低減する

見積ったリスクについて、どのレベルを下げてリスクを低減するかを検討し、優先度に対応して実施します。

実際にリスクアセスメントによる熱中症対策を行っている建設会社の取り組みを紹介します。



熱中症の救急措置

適切な応急処置の知識をしっかりと身につけるとともに、病院などの緊急連絡先も把握しておきましょう。



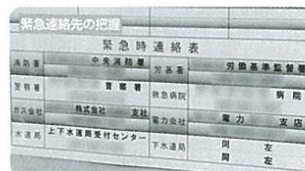
・意識の確認



・脱衣と冷却



・医療機関を受診



・緊急連絡先の掲示

協力：株式会社ナカノフドー建設

ミドリ安全株式会社

株式会社ウェザーマップ

企画・製作・発売元



株式会社 教 配

2016年作品

15分 / DVD 50,000円（本体価格）＋税

●お申し込み・お問い合わせ